

2023 第 1, 2, 3 RUTC 答え 25 (26) (社)世界福音化伝道協会 www.weea.kr			
2023 年 7 月 1 日週間祈りカード			
△産業宣教/全国長老連合会修練会 2 講 産業現場を御座化(創 2:7、I コリ 3:16)	△レムナント伝道学 反対側を見るべき(出 14:1-13)	△核心/全国長老連合会修練会 3 講 237 の実際構成(使 1:8)	△散らされた弟子たち 私の伝道完成(使 9:15)
□序論_常に成されるべき祈り三つ 私(3・9・3)神様の神殿(宮)になったこと 教会(三つの祭り、237、庭)が神様が臨在される神殿(宮)になって三つの祭り、237 か国、三つの庭になること 職業(見張り人)職業が神様の神殿(宮)として人が集まるプラットフォーム、人を生かす見張り台とアンテナがあるべき。皆さんが 24 する見張り人だ。 産業現場、仕事が御座化されなければならない理由 光の経済を回復して、237、癒やし、サミットのシステム 24、25、00 を作って、三つの庭に 24、25、00 になるべき 職員、同僚に対する 24、25、00 が必ずあって皆さんを見て神様を分かるべき。皆さんの産業が 237 か国生かすことができるべき □本論 1. 神殿(優先順位)は絶対減むことはできない。 1) 重職者長老は神様の臨在が優先順位だ。序論の約束を味わって待つべき 2) すべての所に目に見えないように聖霊で働き 3) 行く現場が神様の働きが起きる現場になって御座となる 2. 生きたささげ物(ロマ 12:1-2)生活の中に現れたささげ物 1) 生活の中に神様の臨在、神殿の働き、御座化の働きが起ること 2) 生きたささげ物 3) 確信を持つように味わえば、それが生きたささげ物で霊的礼拝だ。 3. 未信者が見る信徒 1) 未信者が見てキリストのしもべ(3つの呪いをなくす)と悟れば良い。 2) 神様の奥義を持った者 3) 神様の奥義の管理者、召使い □結論_証拠 1. RT -重職者 証拠(人、仕事、現場、問題、世界) レムナント 7 人が重職者になる日 1) 人を生かして 2) する仕事が生かされて 3) 現場の霊的状态がひっくり返り 4) だれも解決できない問題を解決 5) 世界が生かされる。 2. 初代教会(使 2:10) -パウロチーム(ロマ 16 章) (24 祈り) 使 2:9-11 キリスト、ただ神の国、ただ聖霊を体験した 15 か国の人々が世界を変えた パウロを助けた重職者、パウロチームが光の経済を回復。パウロを置いて 24 祈った人々 3. 使 17:1(キリスト)、18:4(礼拝-祈り)、19:8(神の国)(会堂)この人々が未来準備。会堂でキリストの当為性、礼拝、祈り、神の国を教えた。これを知って出て行ったレムナントはどこでも勝つ。	□序論_すべてを見る目が重要だ 1. 間違ったこと-アメリカにどんな霊的問題が来るかをはやくキャッチすべき 2. 水準以下のことを持って考えてはいけない。 3. 平凡なことを越えてこそ世界福音化する。 □本論_反対側のことを見るべきだ。 1. RT 7 人が見たこと 1) 創 39:1-6 -ヨセフはエジプトを見た。 2) 出 5:1-12:46(世界化) -世界福音化-「キリストのために王宮の栄光を捨てて出てきた」 3) I サム 7:1-15(民) -ミツパ運動、サムエルはペリシテではなく、イスラエルの問題を見た 4) 詩 23:1-6 「主は私の羊飼い、主の家にいつまでも住みます」 5) II 列 6:8-23(6:15)(詩 103:20-22) -エリシャはアラム軍隊より主の軍勢が多いことを見た 6) ダニ 1:8-9 ダニエルはここで心を定めた 7) 使 19:21 迫害を受けたのではなくパウロが見たことは「ローマも見なければならない」だ。 2. 迫害 1) 奴隸-出 3:18-20 -回復の証拠 2) 迫害-道(使 11:19)になる 3) 流浪時代にレムナントが起きて世界の道になる(使 28:30-31) 3. 今日 1) 伝 3:15 -すべてには時刻表がある。それゆえ、本来のこと、根本を見なければならない 2) 使 1:8 今日だけ見るのではなく「ただ聖霊、力、証人」 3) ロマ 16:25-27 世々にわたって隠されていたことを今与えられ、永遠にあることを与えられた □結論 1. 競争者 X 2. サタンの攻撃 X 3. ここにすべてがある。	□序論_契約 一生の答え(3・9・3 祈りのリズム 24・25・00-5 力) 237 を実際構成しなければならないが、一生にどんな答えを味わうのかを持って祈りのリズムを見つけなければならない。一生の答えの重要なことは、神様の重要な契約の中にいることだ。契約が正確ならば、神様が働かれるようになっている。 三位一体の神様の働き、世の中に勝つ唯一の道である御座の力でこそ、3 時代を生かすことができる。3・9・3 祈りの中で祈りのリズムを見つけ出すことが 24・25・00 で、そうすれば、5 力が生まれる。他の人が理解できない力、神様が与えられる知恵、年を取っても霊的にはさらに健康な体力、光の経済、弟子を見つける人材力も 70 戦略で出て来るようになる。 1. 三つの絵 1) 次世代に伝達する一つの国の絵を描かなければならない。 2) 教会の中で三つの庭の中の一つ 3) そこに合う答えを与えることができる RT システム 2. 実際のやぐらを建てること 1) プラットフォーム(Trinity) -三位一体の神様が私に働かれること 2) 見張り台(Throne) -御座の祝福が私に臨むこと 3) アンテナ(3 時代を生かすこと) 3. 教会内 私のやぐら(1 千やぐら) 1) 237 が来たとき、自分のことをみな整理して行くように 2) 癒やし 3) サミット(レムナント) 重職者時代を開きなさい。 □本論_方法 1. 制限的祝福と祈り-最も重要で至急なことからしなさい。神様のみこころに合うときに来る答え 1) ただ(1:1 キリスト) 2) 唯一性(1:3 待ちなさいと言われた神の国) 3) 再創造(1:8 ただ聖霊で世界福音化) 2. 選択的集中-三つの答えが来れば、それを握って集中 1) 使 1:14(条件 x、言い訳 x、理由 x) △はやく私のことから越えなければならない。本当に神様のことを見てしまえば私の主張は出て来ることはない。 2) 使 2:1-47 三つの祭り(五旬節の日)、237 か国、未来(幻、預言、夢)みな含む 3) 使 3:1-12 神殿の美しの門の足の不自由な人を見たペテロの集中 3. ワンネス祝福-皆さんのためにみな生かされる。ここに集中する祈り 1) 使 9:1-15 ワンネスを一番上手にできるパウロを立てられた。 2) 使 11:19-30 世界に向かってワンネスを上手にするアンティオキア教会を用いられた。 3) 使 13:1-4(重職者) -世界宣教の始まりにワンネスできる重職者がいた。 □結論_金土日時代の主役-レムナントが正確なタラントを分かるようにさせなければならない。 1. Heavenly-上から与えられる神様の祝福 2. Thronely -御座の力 3. Eternally-永遠なことではなければならない。 △答えも基準を置かずにもそのまま味わいなさい。	□序論_散らされた弟子たちは巡礼者だ。 1. あらゆる事を超越することができるよう祈り全体整理 2. 伝道全体整理されているべき 3. いつどこでも答え、更新、機会を見つけるべき それゆえ、巡礼者は受容-超越しなければならない。 □本論 1. 皆さんのアイデンティティ 1) 過去は土台(ピリ 3:1-10) 2) 皆さんの今日(ピリ 3:12-14) 3) 皆さんの未来(ピリ 3:21) 2. 道しるべ 1) 使 13:1-4 神様が完全に知らせる場所、こと、人 2) 使 16:6-10 門がふさがったが重要な道しるべ 3) 使 19:1-7 ティラノに入る前にマルコの屋上の部屋に起こったことと似た働き 3. 三つの目標 1) 使 13、16、19 病気の者 2) 使 17:1、18:4、19:8 次世代 3) 使 19:21、23:11、27:24 (中心)ローマ、生かすべき □結論(目)に見えないが、神様が働かれる流れを見ること

△区域メッセージ (第 27 週) 神の報いと 25 の答え (マタ 10:40-42)	△聖日 1 部礼拝/収穫感謝主日 宝を持った人々 (Ⅱコリ 4:1-15)	△聖日 2 部礼拝 外なる人と内なる人 (Ⅱコリ 4:16-18)			
伝道と私がどんな関係があるのか考えるようになれば、神様と方向が合う。神様が願われる伝道の中に私たちがいるかが重要だ。 □序論_冷たい水一杯-光の経済、暗闇わざわざいX イエスが弟子に冷たい水一杯も報いを失わないと言われた。私たちに力はないが、このときから、光の経済が回復し始めて、暗闇のわざわざいが崩れる。 □本論 1. 真の成功 1) 237-次世代 全世界に散らされた次世代を生かすのに用いられていれば真の成功だ。 2) 100、1000、永遠-伝道は 100 年、1000 年、永遠の答えにつながる。 3) 奴隷、捕虜、属国、流浪の民-多くの人がサタンの奴隷、捕虜、属国になって、全世界の流浪の民であるのに、彼らを 1 人でも生かす場にいるならば真の成功だ。 2. 霊的戦争 1) 時空超越-創 3・6・11 章問題が時空超越する問題なので、私たちに時空を超越する戦争、答えが来る。 2) 暗闇と光-暗闇の中で光を照らす霊的戦争だ。 3) 99.9% - 0.1%絶対可能 99.9%の人が福音、伝道を知らないが、0.1%の福音、伝道を知る人が変えたのだ。絶対不可能なことを絶対可能に変えるのだ。それでこそ、私たちの次世代がある日、学業、職業、産業が世界を生かす中心の中にあるようになる。 3. 霊的問題-解決者- 3・9・3 この時代にいくら立派な人も霊的問題は解決できない。それゆえ、この霊的戦争をする理由は、霊的問題解決者と呼ばれたためだ。あわせて 3・9・3 を伝えるのだ。 1) 三職務-キリストの御名で救われるようにされたので、真の預言者、わざわざいをなくした真の祭司、サタンを破って勝った真の王だ 2) キリストによって三位一体の神様が目に見えないように霊で働き 3) 行く所ごとに御座の力で働き 4) 私たちの過去、現在、未来を完全に癒やされる。 □結論_ <u>70</u>人、地域、国 イエスが 70 人を送られ、これらが 70 地域、70 の国に影響 門を閉ざす教会-私たちの教会の最後の使命は、全世界の門を閉ざす教会生かさなければならない。牧師になったが伝道もできず、教会もできなくて、力がなくて死んでいく。彼らから生かすべきだ。もし神様が私たちに光の経済として働かれるならば、できないこともない。祈れば作られる。	□序論_救われた私たちは何を受けたのか(収穫感謝の流れ) 金土日時代を開いてすべての国の人々、237、5 千種族を生かす現場を作らなければならない。ムスリムが地球 1/3 占めており、ユダヤ人が経済、文化、ノーベル賞を掌握した。3 団体は毎日次世代を訓練させていて、瞑想運動で世界を動かし、多くの人材をネフィリムにしている。 1. エジプトから出て守った三つの祭り 1) 過越祭-羊の血によって呪いから解放、救われたこと 2) 収穫祭-天国の御座の背景 3) 五旬節(収穫祭)-今日受けなければならない聖霊の力(荒野で勝利) △3 団体が霊的なことを全部事実化させた。メタバース市場を掌握する準備ができた。ところが、教会はこれを重要だと考えていない。 2. 捕虜時代に-ゼカ 4:6 1) この契約を実際に信じなくて捕虜となる 2) 他のことではできず、ただわたしの霊によってできるのだ(ゼカ 4:6) 3. 捕虜から戻って来たとき-わたしはわたしの霊をすべての民に注ぐ(ヨエ 2:28) 4. 属国になったとき-しかし(ただ) 聖霊があなたがたの上に臨めば力を受けて証人となる(使 1:8) 5. 初代教会で-息子や娘は預言、若者は幻、老人は夢を見る(使 2:17-18) 6. コリント教会に 1) 神様からの霊を受けたので(Ⅰコリ 2:12) 2) 神様の神殿(宮)で、神様の聖霊があなたがたの中に(Ⅰコリ 3:16) 3) 耐えられる試練だけ与えられ、脱出の道を与え、十分に耐えるように(Ⅰコリ 10:13) □本論_世の中の人々が知らないこと 1. 根本勝利からすべき(4-5 節) 1) 世の神、サタン(4 節) 2) 世の神、サタンに勝つことができる権威を与えられた(5 節) 2. 根本癒やしの光を与えられたこと(6 節) 1) 創 1:3 創造の光 2) イザ 60:1-22 栄光の光 3) ヨハ 1:11-12 光として来られたイエスを受け入れれば神の子どもになる権威 4) マタ 5:14 あなたがたは世の光 5) Ⅰペテ 2:9 この光を照らすために呼ばれた。 3. 世の中を生かす奥義(7-10 節) 1) 宝を入れた土の器-聖霊が私の中に(7 節) 2) 苦しめられても窮せず、途方に暮れても行き詰ることなく、倒されても滅びない(8-9 節) 3) イエスのいのちが私たちの身に現れるために(10 節) □結論_残っている祝福 1. 霊的サミットとして行ってプラットフォームを作りなさい 2. 人々が見ることができるよう光を照らすやぐらを作りなさい 3. アンテナ-未信者と霊的問題を持っている人々が分かる。	□序論 1. 落胆 X-内なる人は日々新たにされている(16 節) 2. 一時の(患難)-比べものにならないほど重い永遠の栄光を、私たちにもたらす(17 節) 3. 注目すること-目に見えないこと(18 節) □本論_この祝福を分かる世界福音化した <u>0.1%</u>の人々-パウロに起こった重要な出会い <table border="1" data-bbox="1480 403 2139 432"> <tr> <td>アナニア、バルナバ+パウロ</td> <td>プリスカ、アキラ+パウロ</td> <td>マケドニア弟子</td> </tr> </table> 1. 最初に会った 0.1%中の人 1) カル、オリ、マル契約 2) 15 のどんな状況も勝つことができる御座の祝福を悟るようになった 3) 7 ミッションが出てきた。 4) 7 大旅程が始まった。 △パウロがここにいた人に会ったのだ。 2. 0.1%二回目に会ったプリスカ夫婦 1) ローマから追い出された人々 2) 使 2:10 マルコの屋上の部屋の現場で恵みを受けた人々 3) 使 18:1-4 パウロと会う (1) 産業が同じだった。 (2) 会堂に一緒に入った。 (3) コリント教会を生かす始まりになり、ローマ福音化を成し遂げた △本当に福音を知って味わう人に会えば、その出会いは皆さんの産業を生かすようになっている。 3. 0.1%三回目に会ったマケドニア弟子 1) 使 16:6-10 幻のうちにマケドニアにきて私たちを助けてください。 2) 使 16:11-15 祈り場を訪ねて行って会ったリディア 3) 使 16:16-18 悪霊につかれた者を癒やしー世界的な答え 4) 使 16:19-40 監獄でもっと大きな働き 5) 使 17:1-6 マケドニア、アカイアで模範になったテサロニケ教会 6) 使 18:1-4 プリスカ夫婦との出会いがローマ福音化まで行くようになったこと △内なる人は霊的奥義を持っている人、世界を変えた 0.1%の人を言う。このような人が起きなければならない。肉の人、外なる人では世界福音化できない。ある日、必ず苦しみが来る。出会いが起これば肉肉なことを話すが、皆さんは暗闇が崩れる、本当に神様が願われる霊的なことで疎通しなさい。 □結論 1. 神様が願われる霊的な人が 1 人いれば 1) 霊的勝利起こる 2) 暗闇が砕かれる 3) 神の国が臨む答えが来る △霊の人、福音の人は多くの人の霊を生かす。 2. ローマ(暗闇と答えの中心) 3. 一番たくさん助けたコリント教会(ロマ 16 章) -プリスカ夫婦 △結論を出した。私が人に会えば福音だけ話して、神様が私とともにおられた証話話さなければならない。ただ福音、ただ伝道、ただ宣教だけをする。その中にすべてが皆入っている。このような 1 人がいないので、教会と家庭、会社に暗闇が覆われて崩れるのだ。この奥義を持っている人を見つけて育てるのだ。	アナニア、バルナバ+パウロ	プリスカ、アキラ+パウロ	マケドニア弟子
アナニア、バルナバ+パウロ	プリスカ、アキラ+パウロ	マケドニア弟子			